

デビュー50周年記念ギターリサイタル



50th  
Anniversary

# 莊村 清志

ピアノ：大室晃子



2019年

12/14 (土)

14:00開演 (13:30開場)

入場料 3500円 (全席自由)

発売日 8月1日(木)

《PROGRAM》

- ソル ：モーツァルト「魔笛」の主題による変奏曲 op.9
- メルツ：ギターのための6つのシューベルト歌曲より、「漁師の娘」「セレナーデ」「愛の便り」
- ヴィラ＝ロボス：練習曲第1番、前奏曲第1番、第5番
- ラウロ：ベネズエラ風ワルツ第1番、第2番、第3番  
休憩
- イルマル：バーデン・ジャズ組曲
- テデコス：ギター協奏曲第1番 ニ長調op.99 (ピアノ：大室晃子)

アムールホール

神奈川県大和市深見西2-4-14

お問い合わせとお申込

☎046-200-0008

e-mail [amr@daichou.co.jp](mailto:amr@daichou.co.jp)

<http://www.daichou.co.jp>

※未就学児のご入場はご遠慮ください



ピアノ：大室晃子

[主催] 大長産業(株)／アムールホール

## 莊村清志 (ギター) Kiyochi Shomura (Guitar)

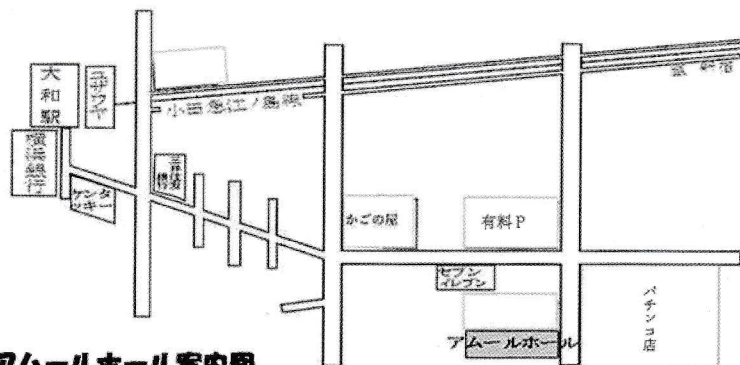
9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエペスに認められ、翌年スペインで師事。67年と68年にはヨーロッパ各地でリサイタルを行ない、69年の日本デビューで、「テクニック、音楽性ともに第一人者」との高い評価を得た。71年には北米で28に及ぶ公演を行い国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に講師として出演し一躍全国にその名と実力が知られることになった。2007年NHK教育テレビ「趣味悠々」のギター講師として再登場し、改めて日本ギター界の第一人者としての存在を強く印象づけた。2008年ビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アランフェス協奏曲》を録音、09年にCDをリリース、日本ツアーのソリストとして同行し好評を博した。

2015年10月にはイ・ムジチ合奏団と共演、レコーディングを行い、ジュリアーニ、ヴィヴァルディのギター協奏曲を含むアルバムが16年1月にリリースされた。17年から20年にかけてギターの様々な可能性を追求する「莊村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組んでおり、第1回は17年にさだまさしと、第2回は18年6月(いずれも東京オペラシティコンサートホール)にcoba、古澤巖、錦織健と共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となった。本年はデビュー50周年に当たり、5月に初のバッハ・アルバム「シャコンヌ」をリリース、全国各地でリサイタルを行っている。現在、東京音楽大学客員教授。

## 大室晃子 (ピアノ) Akiko Omuro (Piano)

東京生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業。在学中に「モーニング・コンサート」において藝大フィルハーモニー管弦楽団と共演。同大学大学院修士課程を経て渡独。フライブルク音楽大学を最優秀で卒業後、ドイツ・バーデンビュルテンベルク州立銀行より奨学金を得て、シュトゥットガルト音楽・表象芸術大学大学院に進む。ソリスト課程を首席で修了し、国家演奏家資格を最優秀の成績で取得。シュトゥットガルト音楽・表象芸術大学にてピアノ科助手として教鞭をとり、管楽器科の伴奏助手も務めながら、ヨーロッパ各地で様々な音楽活動を展開した。演奏活動の拠点を日本に移してからは、東京藝術大学指揮科の伴奏助手となり、国内外の一流指揮者のもとで、合唱やオペラ等の伴奏、稽古ピアニストを勤めた。近年では、自身のソロ・リサイタル開催とともに、様々な演奏家の伴奏、室内楽のパートナーとしても活躍の場を広げている。これまでに、岡崎悦子、植田克己、浜口奈々、V. ベルゾン、W. ブローザーの各氏に師事。上野学園大学非常勤講師。

大室晃子公式ウェブサイト：[www.akiko-omuro.com](http://www.akiko-omuro.com)



アムールホール案内図

相鉄線・小田急線大和駅(相鉄口)より徒歩12分  
駐車場のご用意はございません

